

進路だより

おおさからりつ こうとうしえんがっこうしんろしどうぶ
大阪府立すながわ高等支援学校進路指導部
れいわ ねん がつ にち
令和7年11月19日発行

おおさからさいていちんぎん えん ぜんねんどひ えん れいわ ねん がつ にち
大阪府最低賃金 1,177円に！（前年度比+63円）令和7年10月16日～

—昨年度の41円、昨年度の50円と比較しても、大幅なアップとなります。賃金の上昇とともに、会社で働くすべての人に対して、会社は「より多くの“働く力”」を求めています。全国展開されている企業の担当者様とお話した際、「この時給改定で、〇億円単位で人件費が増える見込みです。色々なものが値上がりして大変なのに。」と頭を抱えられていました。



物価高騰

やす おく げんき しゅっしん ちから しごと ひつよう
「休まず・遅れず」元気に出勤する力は、どんな仕事にも必要！



すながわこうとうしえんがっこう まいにちあや
すながわ高等支援学校では、「毎日通うこと」をととても大切に考えています。これは単に「毎日元気に出席する」という意味だけではありません。働き出すことは区切りではありませんが、ゴールではありません。本校で学ぶ3年間を「働き続ける力」を育てる3年間にするためには、毎日休まない・遅刻しないことがとても重要です！

まいにちあんてい まな
＜毎日安定して学ぶ＞

～毎日安定して学ぶことで～

1. 生活リズムが整い、社会人としての習慣が身につく

まいにち き じかん こうどう せいかつ
毎日決まった時間に行動することで、生活のリズムが安定します。これは、
しょうらいしごと か じかん まも ちから けいぞく ちから
将来仕事をするうえで欠かせない「時間を守る力」や「継続する力」につながります。



2. 「続ける力」が育つことで、自信や信頼につながる

き すす ひ い おち こうどう ちから おお せいちょう ささ
気が進まない日でも「行ってみよう」と思い行動できる力は、大きな成長を支えてくれます。
この「続ける力」は、しょうらいの職場で長く働くための土台になります。安定して働き続けることができる人材が求められる中、「学校に毎日元気に登校した」日々の積み重ねは、
おお じしん つながります。就職時にも「この人は休まず頑張れる人だ」という強い
メッセージが伝わることで、大きな信頼を得ることができます。



～毎日安定して学ぶために～

3. ご家庭での言葉かけが、大きな支えになります

きょうも がんば あす おうえん
「今日も頑張ったね」「明日も応援してるよ」といった日々の言葉かけが、まいにちの出席を支える力になります。就労後も、保護者の方々のサポートが、安心して自分の課題に向き合い続ける大きな力になります。

4. 体調管理には「気持ちの整理」も大切です

たいちょうかんり き も せいり たいせつ
体調管理というと身体のことを思い浮かべがちですが、実は「気持ちの整理」がとても大切です。放課後のクラブ活動や休日などの余暇活動でリフレッシュすることで、「明日も頑張ろう！」と、頑張れる強い気持ちを育てていきましょう。



【就 業 時 間】の考え方

ポイント

求人票には、企業が採用活動を行う際に、仕事内容、賃金、休日などの労働条件や会社の情報が載っています。以下のような記載の場合、お給料が発生する勤務時間はどのように考えるのでしょうか。

労働基準法第34条では労働時間が

- ・6時間を超え、8時間以下の場合には少なくとも45分
- ・8時間を超える場合は、少なくとも1時間の休憩を与えなければならない、と定められている。

求人票の記載例

就業時間	(1) 9時00分～16時00分	休日	その他	週休二日制	毎週
	(2)	日	入社時の有給休暇日数	年間休日数	105日
	(3)	等	6ヶ月経過後の有給休暇日数	休憩時間	60分



「9時に出勤して、16時に退勤してください。その間、60分間の休憩時間があります。」という意味です。
⇒休憩時間はお給料が発生しませんので、9時から16時のうち、お給料が発生する時間は6時間です。



一週間分の労働時間はどうか考える？働き方の例

月曜	火曜	水曜	木曜	金曜	土曜	日曜	合計
		お休み				お休み	一週間の労働時間 30時間
6時間	6時間		6時間	6時間	6時間		

【雇用契約】は会社との約束



会社の方

一週間に30時間以上働いてね！

一生懸命頑張ります！



応募者



「無理せず休む」ことの落とし穴

コロナ禍では「無理せず休む」ことが大切とされましたが、【毎日出席する習慣】が身につけにくくなった例もあります。契約で約束した「週30時間働きます」の約束が守れず、雇用契約が解除になってしまった卒業生もいます。体調を整えて…遅れない・休まない！にチャレンジしよう。

「からだ や ころろ」の調子を整えて毎日出勤することで、「しっかり仕事に取り組んでいるね！」と評価されやすくなります。働き出して6ヶ月が経ってはじめて有給休暇をいただけることが多いので、特に半年間は急に休まないように体調管理を徹底しましょう！有給休暇でなければ、休んだ分、お給料は減ります。

休まずに毎日出勤する習慣は、学校にいる間に身につけましょう！